

「自分たちの住む場所」

12月10日(火)5年生は、県環境整備課の方を招いた環境学習を行いました。

テーマは『ごみ問題と不法投棄について』です。最初に示されたのが、上市之瀬地域に捨てられた不法投棄物の写真です。山林のような場所に山積みされた袋があり、その中にコンクリートのガレキが入っていたそうです。「自分たちが生活している地域でも…」子どもたちは考え始めます。他の市では、山奥に軽トラックや冷蔵庫などが捨てられていることも。山梨県の昨年1年間で確認された不法投棄量は、1001か所、432トン(車300台分に相当)。「これは大変なことだぞ…」子どもたちの頭の中にこんな思いがよぎってきます。

「ごみのごみを呼ぶ」「すてればごみ、分ければ資源」学習のまとめです。当たり前の言葉ですが、自分たちの住む場所と関わっているので重みがあります。5年生は、自分ごととして話を聞き、自分ごととして考えました。

